

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行  
市川市教育委員会  
〒272-0023  
市川市南八幡1-17-15  
TEL 334-1111

■企画編集  
市川市教育センター  
〒272-0015  
市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335

## ボール運動の楽しさを体感

4月25日(水)に宮田小学校で、マリーンズ・ベースボールチャレンジが開催されました。4年生3クラスが2グループに分かれ、マリーンズベースボールアカデミーの武藤コーチをはじめ4名のコーチに、1時間ずつ指導していただきました。

クラスごとに写真撮影をしたあと、コーチによるキャッチボールを見せていただきました。相手のグローブにしっかりと届くようにボールを投げる様子を見て、児童は目を輝かせていました。

体を回転させながら投げる、ボールをとるときにはボールをよく見て膝を曲げながらとるなどのアドバイスを「パッ、

トントン、クルッ」、「パクッ」などの擬音を取り入れながら、児童にわかりやすく説明してくださいました。上手に投げられなかった児童も、コーチの「そうそう、上手になった!」という意欲を引き出す言葉かけで、目に見えて上達して、相手がとりやすいボールを投げることができるようになり、嬉しそうでした。

ベースボール型の球技は、点数が入りやすく、児童が安全に取り組みめるようにアレンジしやすいとのこと。ルールを守ることや、相手への思いやりの大切さも同時に学ぶことができるという利点もあるそうです。児童からは「点が入りやすいルールに変えられるのがいい」と

の感想が聞かれました。

武藤コーチは、「全国的に投げる力は低下してきており、市川市の小学生もソフトボール投げの記録は全国平均を下回っている。体育の授業でベースボール型の授業を取り入れ、ボールに親しんでほしい。この体験授業がきっかけになればいいと思っています」と期待を寄せられました。児童に、「どんなことにも興味を持って、挑戦してください。夢や目標を持ち、継続することが大切です。球技に限らずスポーツをやりたい、健康な体を作ってください」とメッセージをいただきました。

【保健体育課・教育センター】



### 平成29年度

## 市川市児童・生徒学習賞

～過去最多の60件を表彰～

3月22日(木)、平成29年度市川市児童・生徒学習賞の表彰式が全日警ホール(八幡市民会館)にて行われました。

この賞は、学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収め活躍した個人・団体に与えられるものです。本年度の受賞は昨年度より1件増え、個人43件・団体17件の60件となりました。

受賞者及び受賞団体の代表児童生徒には、田中教育長から賞状が、松下教育次長から記念品がそれぞれ授与されました。小学1年生から中学3年生までどの児童生徒も、呼名に対して力強い返事をし、堂々とした姿で賞状や記念品を受け取っていました。

田中教育長からは、お祝いの言葉とともに、平昌オリンピックにおいて、姉妹で金メダルを獲得した女子スピードスケート選手、高木菜那・美帆両選手のエピソードについて話をいただきました。お互いによさを認め、高め合いながら、目標達成へ強い心を持ちひたむきに努力すること、また、自分を支えた人への感謝の気持ちを忘れないことが大切であるとのことでした。

今回、ここで受賞された児童生徒の皆さん、本当におめでとうございます。受賞者名及び受賞団体名や表彰件名等については、市川市教育委員会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

【指導課】



## 縄文時代へタイムスリップ

### 考古博物館の「縄文体験学習」

市川市内には、大小55ヶ所もの縄文時代の貝塚が確認されています。これは全国的にもめずらしいことで、特に国の史跡にも指定されている姥山・曾谷・堀之内の三大貝塚は、歴史の教科書にも登場することがあります。こういった地域の歴史をより身近に感じてもらえるように、縄文体験学習を実施しています。

プログラムとしては、火おこし体験や縄文土器に触れる体験、黒耀石の破片で紙を切ってみる切れ味体験など、さまざまです。また、堀之内貝塚をボランティア指導員と一緒に見学したり、複製の縄文土器で作ったあさり汁を味わったりと、教室の中だけでは得られない、実感をもった体験も行っています。

参加した子どもたちの多くは、火おこしの難しさ、着火した時のうれしさや楽しさを口にし、貝塚の大きさや貝殻の多さ、あさり汁の意外な美味しさにおどろいて帰っていきます。このような体験学習に、今年度は、市内26校から申し込みをいただきました。もし、参加していない、もう一度見てみたいという場合には、博物館や堀之内貝塚の見学は、自由にできますので、お気軽にご来館いただければと思います。

また、博物館近くにオープンした「道の駅いちかわ」の周辺からは「北下遺跡」という遺跡が発見されています。道の駅内に、解説パネルを設置しておりますのでご覧ください。

【考古博物館】





# 金井宇宙飛行士と交信☆

2月16日(金) 予定されていた宇宙飛行士の金井宣茂さんとのリアルタイム交信は残念ながら延期になってしまいましたが、稲荷木小学校で、船外活動のライブ中継を見て、金井宇宙飛行士を応援するイベントが開催されました。

4月6日(金) 延期されていた金井宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベントが習志野市の東邦大学附属中学校・高等学校で開かれました。東京大学教授による火星探査の最新技術の説明のあと、金井さんが滞在している国際宇宙ステーション(ISS)から映像が届くと

会場の空気は一気に盛り上がりました。金井さんがマイクを宙に浮かせて笑顔で手を振ると「わぁ!」という歓声が上がりました。

このイベントには小中高生や保護者、地域の方が約1,200人参加しました。イベント参加者を代表して、小中学校の児童生徒が金井さんに質問をしました。

「小学校の時の好きな教科は何ですか?」、「食事はどんなものを食べているの?」などの質問があり、金井さんは「国語が好きで本が好きでした」、「宇宙では火が使えないので、レトルトや水で戻して食べるものがあり、カレーがお



いしいです」と、一つ一つの質問に丁寧に答えてくださいました。

稲荷木小学校の児童から、「小学校のみんなで旗を作ったので、地球に戻ったら見てください」とのメッセージを伝えると、金井さんは大変喜んでくださいました。

【教育センター】



5月2日(水)、市川市文化会館大ホールにて「こころの劇場」が行われました。「こころの劇場」は、「子供達の心に、人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかけたい」という趣旨のもと、劇団四季が全国の子供達を劇場に招待し、無料公演を行うものです。今年度は、午前・午後の2回公演で、合計35校、3,110名の小学6年生が観劇しました。

今年の演目は、「魔法をすてたマジョリン」。魔法の検定試験を受けることになったマジョリンが、試験勉強のために人間の村に出かけます。そこで出会った青年ダビッドや村の人々とふれあう中で、人間を困らせる魔法よりも、もっと大切なものに気付いていきます。児童は、食い入るように舞台を見つめ、曲に合わせて手拍子を送ったり、笑ったり、時に涙ぐんだりしながら、楽しんで観劇していました。また、公演の中で、本作品のテーマ曲「心から心へ」を全体で歌う場面があり、児童は、歌詞に込められたメッセージをかみしめながら、声を合わせ歌いました。

この公演を通じて児童は、「人を思いやる心」「信じ合う喜び」といった本作品のテーマを心に刻みこむことができたのではないのでしょうか。

「こころの劇場」の公演は、市川の子供達にとって、豊かな心を育てるための貴重な体験の場となっています。来年はどのような感動体験が待っているのか今から楽しみです。

【指導課】



## こころの劇場

## 小・中学校の講師募集

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

- 募集職種
  - 県費講師：産前産後休暇等の代替等
    - 常勤(週38時間45分勤務)
    - 給与：月額20万円程度～(経験による)交通費有
  - 市費補助教員：教科の指導のサポート及び、学級担任等の補助
    - 週2日～(最大5日35時間)(8:15～16:00)
    - 時給1,000円～(職種による)交通費有
- 応募方法
  - \*義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。
  - TEL 047-383-9261
- その他
  - \*採用につきましては、欠員が生じた場合に登録者の中から再度面接のうえ決定します。
  - \*登録後、すぐに採用されるものではありません。
  - \*教員免許の期限が切れてしまっている方で、今後講師をご希望の方は、手続きをご説明しますので、お問い合わせください。



## 子供にかかわる相談は、ここでできます!

### ◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 火～土(午前9時～午後5時)  
対象：3歳～中学校3年生  
様々な悩みに関して専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。

### ◆ほっとホッと訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 火～金(午後0時30分～午後5時)  
対象：小学校1年生～中学校3年生  
不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

### ◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※木は午後7時)  
メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp  
対象：小学校1年生～20歳未満  
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人の相談も可能です。

【教育センター】

## 「オープン・スクール・デー」

市川市立小・中・義務教育・特別支援学校および幼稚園では、「地域とともに歩む学校づくり」の一環として、自校の教育活動を保護者だけでなく、地域住民の皆様にも見ていただける「オープン・スクール・デー」を設定しています。詳細については、各学校・園へ直接お問い合わせください。日程については、市川市のWebサイトに掲載しています。

【義務教育課】

市川市公式ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>